

CASBEE®広島

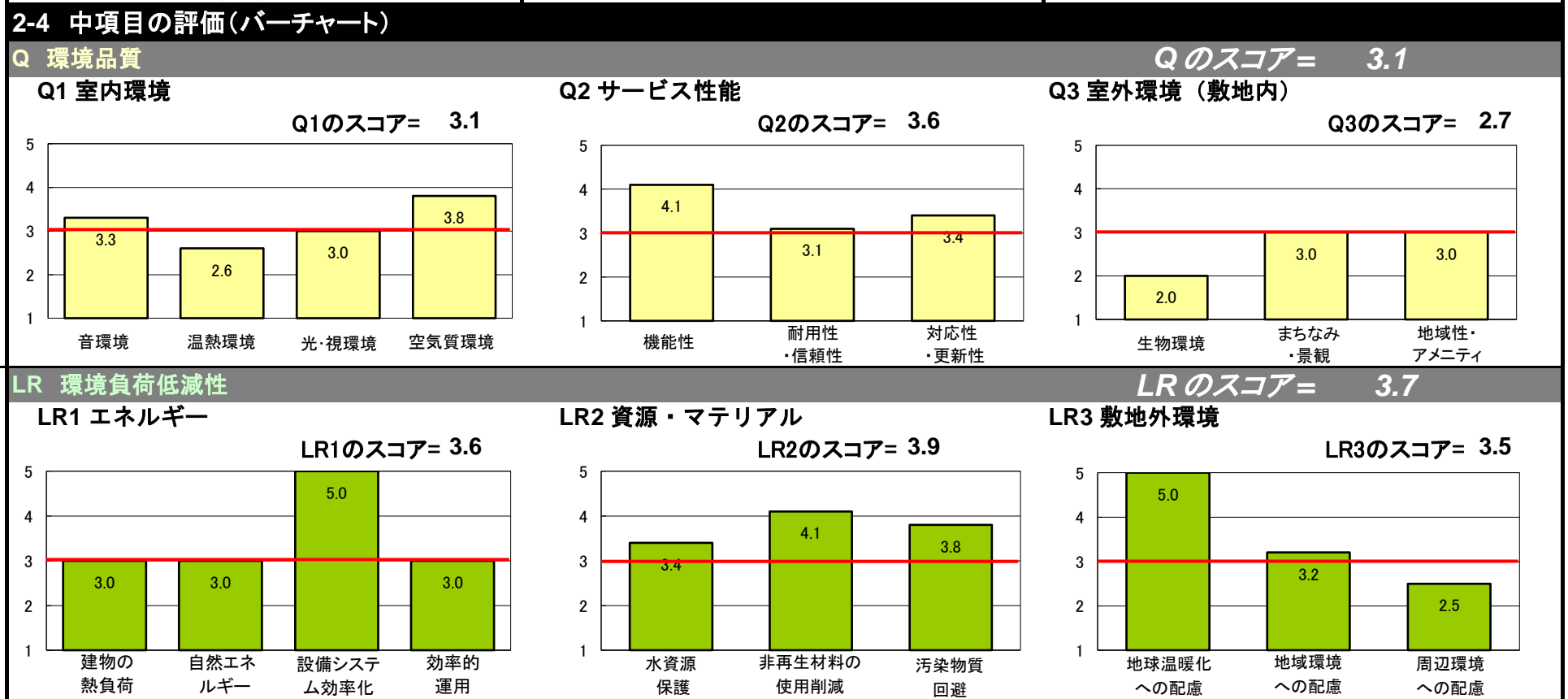
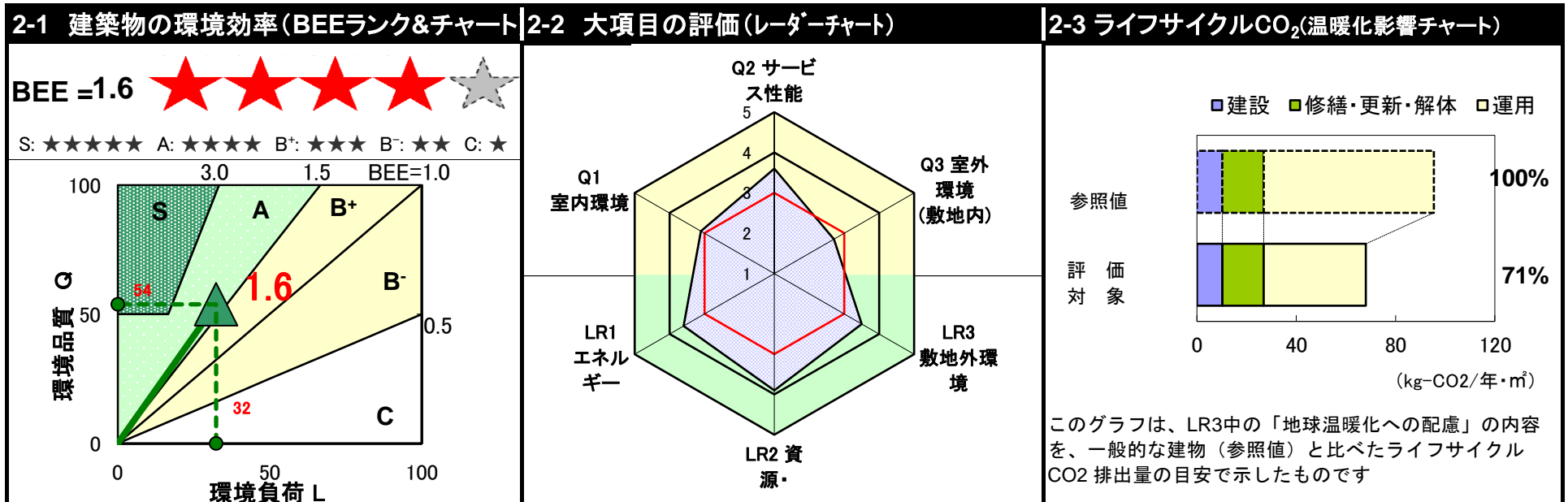
(2010年ver.1)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2009年版

■ベース評価ソフト: CASBEE-Ncb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	広島都市学園大学新校舎	階数	地上5F
建設地	広島市南区宇品西5丁目13-18	構造	S造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	400人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	2,430時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年2月 予定	評価の実施日	2013年7月5日
敷地面積	18,500 m ²	作成者	佐藤 怜
建築面積	1,059 m ²	確認日	2013年7月5日
延床面積	5,004 m ²	確認者	田原迫 弘司



3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.6

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.9	スコア = 2.6	スコア = 3.2
設計の計画上特段に配慮した事項 //・ERR=37.8//・省水型機器の採用 ・再生鋼材の採用 ・ビニル床タイル、インターロッキング、タイル等のリサイクル材の採用 ・躯体、内装材、設備の分別可能 ・有害物質の含まない材料の使用 ・ハロン消火剤の使用なし/ライフサイクルCO ₂ 排出率71%	設計の計画上特段に配慮した事項 /・適切な駐車場、駐輪場の量の確保、及び計画	設計の計画上特段に配慮した事項 ・維持管理に対して配慮された計画 ・外装にタイルを使用し、補修必要間隔を長く計画 ・配管の更新必要間隔を長く計画/

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される